

連載第76回 横浜市議員 たけのうち猛 市民とともに



横浜市議員
たけのうち猛
<ご相談・ご連絡先>
公明党金沢支部事務所:
金沢区富岡西 3-38-1-101
TEL: 080-9804-9782
FAX: 045-345-4345
✉ info@takenouchi-takeshi.com
http://www.takenouchi-takeshi.com/

令和4年度予算編成に向けた要望書を提出

～コロナによる修学旅行キャンセル料の公費負担も要望

10月22日、来年度に向けた公明党市議団の予算要望書を市長へ提出。現場の課題、多くの切実な市民の声を踏まえた425項目を、しっかりと受け止めた予算編成を要望。併せて、コ



ナ禍で中止になった修学旅行のキャンセル料を公費で負担して頂くよう、教育長へ要望しました。

安心安全の学校生活、教育環境の充実へ!

～決算特別委員会の論戦より①

10月13日の決算特別委員会では、公明党市議団を代表して横浜市の教育施策の重要課題を巡って質疑を行いました。今月～来月号にわたり抜粋してご報告します。

中学校給食について

最大で全生徒数の30%まで供給できる設計でスタートしましたが、初年度の喫食率が既に20%を超え、来年度は早くも30%を上回る見込みです。利用を希望する生徒に確実に給食を提供できるよう、供給体制の強化を図るべきです。

(教育長答弁)

事業者の工夫・協力を頂きながら、現状の供給量の2倍(=喫食率40%)まで対応できるようにし、安心安全な給食を確実に提供できるようにします。

【主張】市長の目指す「全員喫食」に反対!

現在の選択制デリバリー型給食は、わずか数年前に実施した生徒・保護者・教職員へのアンケート結果による「選択制が良い」という多数意見を踏まえて実施しているものです。また議会での長年の議論を経て、土地・敷地の確保の課題、費用対効果という観点、全市一律に提供できるという観点からも、現在のデリバリー型給食が横浜市にとって最適手法だとすでに結論が出ています。

市長が表明した再検討は新たな予算や関係者の負担も要し、現在の利用者や事業者に不安を与えることとなります。実現に向けた具体的なプランや財源の裏付けがない「全員喫食」について議論するのではなく、現在の給食の利用促進にこそ力を注ぐべきです。

市会ホームページのインターネット中継もご覧ください

今回の質問の詳細は、市会ホームページのインターネット中継でもご覧いただけます。



【URL】
<http://gikaichukei.city.yokohama.lg.jp>